

## プランの内容

基本目標



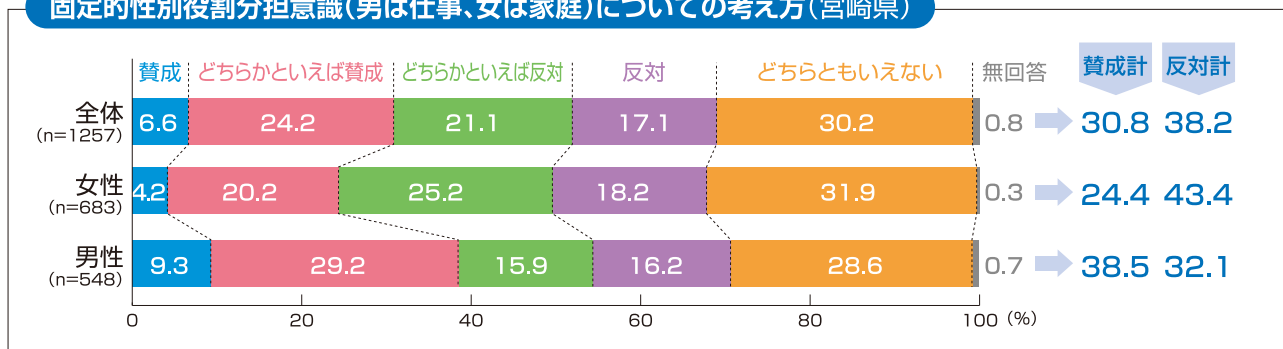
# 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

男女共同参画社会は、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かちあい、一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮して自分らしい生き方ができる社会であり、女性にとっても男性にとっても暮らしやすい社会です。

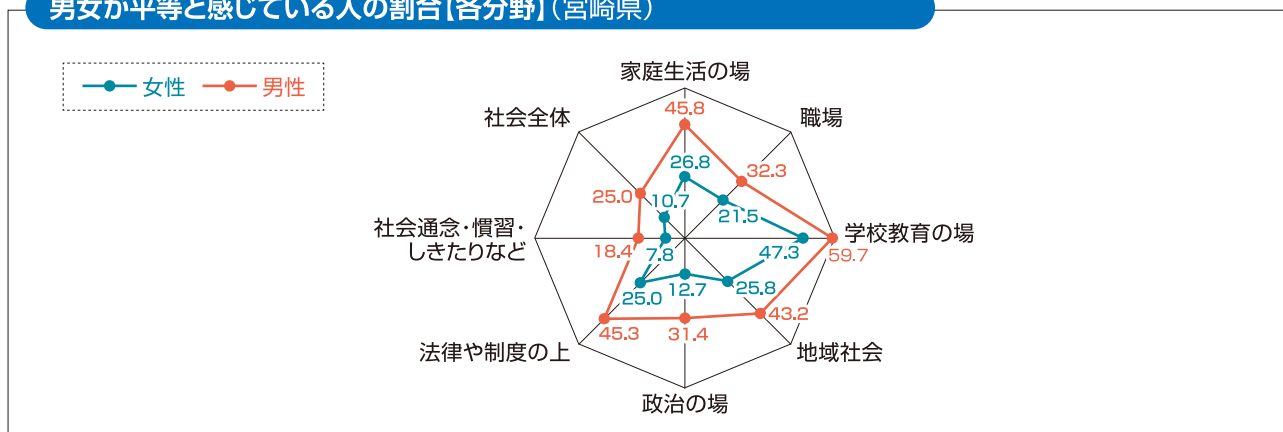
しかしながら、人々の意識の中に長い時間をかけて形作られてきた性別に基づく固定的な役割分担意識は根強く、その意識が影響した制度や慣行は依然として存在しています。また、男女共同参画は働く女性のみの問題として認識されることも多く、あらゆる人々にとって必要であるということが十分に広まっていない側面もあります。

こうした状況は、それぞれの人が理想とする生き方や社会での活動の可能性を狭めることにもつながるため、男性や子どもを含めたあらゆる立場の人々にとって男女共同参画が必要であるという認識が広まるよう、男女共同参画社会づくりに向けた意識改革を進めていきます。

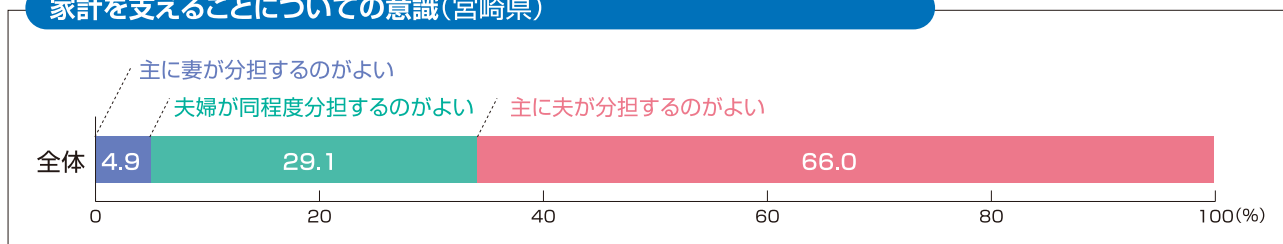
### 固定的性別役割分担意識(男は仕事、女は家庭)についての考え方(宮崎県)



### 男女が平等と感じている人の割合【各分野】(宮崎県)



### 家計を支えることについての意識(宮崎県)



資料:「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」(平成22年)

## 重点分野 ①

## 男女共同参画の理解の促進

### 理解と共感を広げる広報・啓発活動の推進

男女共同参画が必要であることをあらゆる人が共感し、理解することができるよう、男女共同参画の理念についてわかりやすい広報・啓発を推進します。

### 男女共同参画を推進する学習機会の充実

あらゆる世代の男女が、生涯にわたって男女共同参画の視点を学んだり、社会参画の意識を高めることができるよう、講座の開催や講師の情報提供などによる学習機会の充実を進めます。

### 男女共同参画の視点に立った慣習・慣行の見直し

家庭、職場、地域などで男女共同参画社会の形成を阻害すると考えられる慣習・慣行の見直しについて、広く呼びかけを行っていきます。

### 男女共同参画に配慮したメディア表現の促進

広報、出版物における表現が性別に基づく固定観念にとらわれず、男女共同参画に配慮したものとなるよう、広報・啓発に取り組みます。

また、インターネットをはじめ様々なメディアからの男女共同参画を阻害する情報に対し、受け手側が主体的に判断できるよう、メディア・リテラシー\*の育成・向上を図ります。

指標項目	基準値		目標値	
	数値	年度	数値	年度
固定的性別役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」という考え)にとらわれない人の割合	38.2%	22	50%	28
社会全体で男女が平等になっていると感じる人の割合	16.9%	22	30%	28
宮崎県男女共同参画センター主催講座の満足度	97.2%	22	100%	28

## 重点分野 ②

## 男性・子どもにとっての男女共同参画の推進

### 男性に対する広報・啓発活動の推進

男女共同参画の意義について、男性自身が理解を深め、固定的性別役割分担意識にとらわれず自分らしい生き方ができるよう、男性を対象にした広報・啓発活動を推進します。

### 男性に対する支援体制の充実

男性であることで負っている社会的な重圧や悩みなどについて相談体制の充実を図り、男性が豊かで健全な生活を送れるよう支援を行います。

### 子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進

次代を担う子どもたちが、性別によってその可能性が狭められることなく、将来を見通した自己形成ができるよう、子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進を図ります。

### 子どもに関する支援体制の充実

次代を担う子どもたちが性別にとらわれず、個性と能力を発揮して健やかに育っていくため、社会全体で子どもを支える体制の整備を図ります。

指標項目	基準値		目標値	
	数値	年度	数値	年度
宮崎県男女共同参画センター主催講座(講師派遣を含む)の男性受講者の割合	—	—	30%	28
自殺者数(10万人当たり)	27.1人	22	22.9人	28
人権教育指導者養成研修会の受講者数(累計)	3,704人	22	4,900人	28

\*メディア・リテラシー／メディアの情報を主体的に読み解く能力、メディアにアクセスし活用する能力、メディアを通じコミュニケーションする能力の3つを構成要素とする複合的な能力のこと。